

3月定例会



ここに注目！



注目①

平戸城再築城300周年！

平戸城再築城300周年記念事業・・・1億2,000万円

平成30年は平戸城が再築城され300年を迎えます。

平戸観光のシンボル「平戸城」を生かし、幻想的なライトアップ（デジタルアート）など、これまでにない夜間観光イベント（仮称）「300年の時を経て光と音が織りなす幻想祭」や記念フォーラムを開催し、交流人口の拡大につなげるとのことです。

【光と音のコラボレーション】

○期 間 平成30年9月1日～10月31日 18時～21時

○開催場所 平戸城内（大手門から本丸まで）

○入 場 料 1,000円



平戸城大規模改修事業・・・2億1,774万6,000円

平成30年度は、老朽化している平戸城の狸櫓、乾櫓、北虎口門、北虎口書院、塀の改修を実施することです。また、平成31・32年度にも改修を実施し、3カ年かけて平戸城のイメージアップを図るとのことです。▲大規模改修をする平戸城



注目②

春日の棚田を幻想的にライトアップ

世界遺産ライトアップ事業・・・434万円

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産となっている春日集落を幻想的にライトアップすることで、夜の観光誘客・宿泊客の増加、市民への普及啓発を図るとのことです。

また、「神の恵みのハーブ」、「聖なる草」と呼ばれるバーベインの植栽を行い、春日集落の魅力を高め、来訪者の見どころを創出することです。バーベインは、後に春日集落案内所でハーブティーとして提供するなど活用したいとのこと。

【春日の棚田ライトアップ事業】

○期 間 平成30年11月の1カ月間

○開催場所 春日の棚田

○内 容 2色に色が変わるLEDライト5,000個を棚田に設置。週末には生月～春日間のシャトルバスを運行します。

【バーベイン植栽事業】

○内 容 平成30年5月ごろ 花苗を春日集落案内所などに植える

平成31年3月ごろ 耕作放棄地にバーベインの種をまく

ハーブの加工に関するワークショップが開催されるそうです

平成30年度

平戸市が描く未来像「夢あふれる 未来のまち 平戸」
実現に向けスタートされます

一般会計当初予算 263億7,100万円を可決

前年度より15億2,100万円 減

市民一人あたり予算額 82万3,991円

前年度より3万1,828円 減

■特別会計 103億4,829万円 前年度より10億1,046万円 減

■企業会計 51億8,255万円 前年度より7,920万円 減

3月定例会が3月5日から23日までの19日間の日程で開催されました。

今回は、平成30年度予算を中心に、条例の改正や補正予算など提案された報告4件、議案56件、議員提出議案1件を審議し、原案のとおり可決しました。

平成30年度は、第2次平戸市総合計画「平戸市未来創造羅針盤」の基本構想に基づき、共通プロジェクトおよび基本プロジェクトを予算編成の柱とし、平戸市が描く未来像である「夢あふれる 未来のまち 平戸」の実現に向けたスタートの年と位置付けられました。

特に重点プロジェクト「シン・平戸創生プロジェクト」においては「未来を担う人材創出プロジェクト」「もうける農林水産プロジェクト」「平戸観光地力向上プロジェクト」の実現に向け、重点的に予算配分をしたことから、最小の経費で最大の効果が得られるのかなど慎重に審査しました。